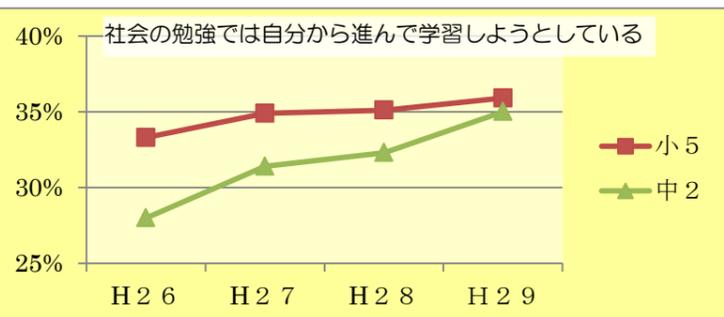
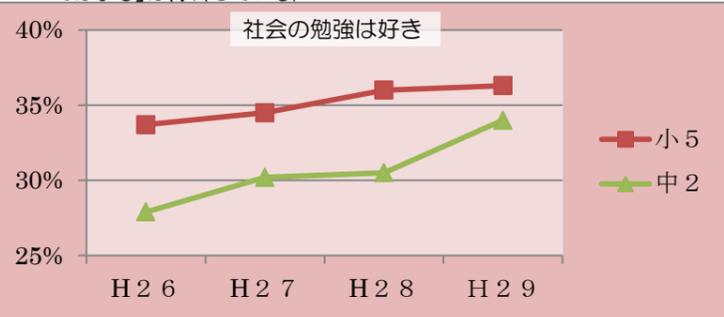


## 4 質問紙調査から

### 【児童生徒質問紙調査の結果より】

※いずれも、「当てはまる」を回答した児童生徒の割合（「どちらかという当てはまる」は除外している）



小学校、中学校ともに「社会の勉強は好き」、「自分から進んで学習しようとしている」と回答している児童生徒の割合が年々高まっています！

日々の授業の中で、教材提示を工夫したり、資料を吟味・精選したりして、「なぜ？」、「どうして？」、「知りたい！」、「調べたい！」といった児童生徒の学習意欲を高めている証です。

今後も、主体的・対話的で深い学びの観点から、不断の授業改善を行っていきましょう。



## 5 自校の調査結果をチェックしましょう。

今回の結果からみられる自校の課題を取り上げ、来年度に向けた指導改善事項を確認しましょう。

### 《自校の課題》

#### ★課題となっていることの要因や背景

1 児童生徒の実態から

2 教師の指導から

#### ☆指導上の改善点（見届けの徹底を図るための場や方途）

社会の授業では、

平成29年度 岐阜県における児童生徒の学習状況調査

## 指導改善資料 社会編

平成30年3月 岐阜県教育委員会

## 1 結果の概要

### 小学校第4学年

県平均正答率 66.6%

A問題 66.9%

B問題 66.2%

自校平均正答率 [ ]%

A問題 [ ]%

B問題 [ ]%

### 小学校第5学年

県平均正答率 57.9%

A問題 56.3%

B問題 62.9%

自校平均正答率 [ ]%

A問題 [ ]%

B問題 [ ]%

### 中学校第2学年

県平均正答率 49.7%

A問題 48.5%

B問題 51.1%

自校平均正答率 [ ]%

A問題 [ ]%

B問題 [ ]%

## 2 指導改善の重点として取り組んできたことの成果

\*「これまでの調査」の問題番号中にある「県」は県学習状況調査を指す。

### ■経年でみて、成果といえること（岐阜県の強み）

問題番号	平成29年度 岐阜県における児童生徒の学習状況調査			これまでの調査		
	出題のねらい・意図	自校	県	問題番号	自校	県
小4	[1]1	%	74.2%	H27県 [1]3	%	90.5%
	[3]2	%	75.0%	H28県 [2]1	%	86.3%
小5	[2]3	%	76.6%	H28県 [2]3	%	74.7%
	[5]2	%	81.7%	H28県 [4]2	%	71.1%
中2	[1]1(1)	%	79.7%	H28県 [1]1(1)	%	89.7%
	[3]1(3)	%	69.9%	H28県 [3]1(4)	%	83.5%

### ■これまで課題としてきたことのうち、改善の兆しがみられること

問題番号	平成29年度 岐阜県における児童生徒の学習状況調査			これまでの調査		
	出題のねらい・意図	自校	県	問題番号	自校	県
小5	[3]1	%	68.2%	H28県 [1]3	%	32.4%
	[5]3	%	71.4%	H28県 [4]5	%	58.3%
中2	[1]1(2)	%	50.3%	H28県 [1]1(2)	%	46.9%
	[3]1(1)	%	73.1%	H28県 [3]1(1)	%	67.8%

### 3 調査結果と今後の指導改善の重点として取り組むこと

#### ■課題として捉えられること

問題番号	平成29年度 岐阜県における児童生徒の学習状況調査			これまでの調査		
	出題のねらい・意図			問題番号	自校	県
小4	42	資料からゴミ出しのルールを読み取ることができる。	%	51.5%	H28 県 53	% 55.9%
小5	43	食料自給率を上げるための取組について、根拠をもとに考えることができる。	%	58.3%		%
中2	41 採点の観点(3)	具体的な数値や言葉等を示しながら理由について自分の考えを述べるができる。 (3)「アイデア」と「アイデアの理由」に一貫性がある。	%	33.2%		%

#### ポイント1

児童生徒が学習課題を的確にとらえ、根拠を明確にして「考えを深める」指導を行いましょう。

#### ■授業アイデア例

◇小学校第5学年「これからの食料生産とわたしたち」における実践

1 学習課題の解決に向けて、追究する視点や方法を共有する学びの場を位置付けましょう。

**追究の場面** 課題 → どうすれば日本の食料自給率を高くできるのだろう。

食料自給率が低いと困ることは何だったかな？【事実を共有する】

(例) 外国で災害があったときに輸入がストップすると食べ物が無くなってしまって困る事です。

外国産に頼り過ぎていることが問題の一つかもしれないね。頼らないためにはどうしたらよいか考えていけば課題が解決できそうですね。【追究する内容を共有する】

そのことを考えるために何に注目すればよさそうかな？

**Point**  
課題づくりの後、すぐに個人追究に進むのではなく、学習課題に関わる事実や調べる内容を一人一人の児童生徒が確実にもつための働きかけを行いましょう。

2 児童生徒一人一人が考えを深めるために、根拠や立場を明確にしたり、差異やつながりを明確にしたりする交流にしましょう。

**交流の場面** (例) 資料1からもっと地元の食材を使えばよいと思います。

地元の食材を使うことが、課題とどう結び付きますか？【課題と結び付ける】

「消費者の立場から考えると、安い外国産も魅力がある。」と言う意見もありますが、皆さんはどう思いますか。【差異を明確にする】

(例) 確かに外国産のよさもあるけれど、食料自給率のことを考えれば、私は地元の食材をできるだけ買いたいと思います。

いろいろな方法はあるけれど、食料自給率を高めるためにはBさんのように一人一人が関心をもつことを大切にしたいですね。

**Point**  
あいまいな発言や一部の発言で交流を進めるのではなく、差異やつながりを教師が的確に聞き分けたり、児童生徒の思考を焦点化させたりする問いかけをすることで、考えを深めさせる指導を行いましょう。

※児童生徒による主体的な学び合いで考えを深めていけることが目指す姿です。しかし、児童生徒のこうした見方や考え方を育てていくためにも丁寧な指導をすることを忘れてはいけません！

#### ■その他、関連した指導について

各教科等において、児童生徒が発言した内容の趣旨や意図を吟味し、課題や問いの答えになるように問い返したり、児童生徒の言葉をつないでまとめに結び付けたりする。

#### ■課題として捉えられること

問題番号	平成29年度 岐阜県における児童生徒の学習状況調査			これまでの調査		
	出題のねらい・意図			問題番号	自校	県
小4	12	地図記号について理解している。	%	39.8%	H28 県 12	% 88.5%
小5	32	漁業に関わる用語の意味を理解している。	%	25.0%	H28 県 14	% 50.6%
中2	31(2)	各時代の政治の中心地の位置を地図から選ぶことができる。	%	35.9%	H28 県 31(2)	% 66.3%

#### ポイント2

繰り返しの指導により、基礎的・基本的な知識及び技能の確実な定着を図ることで、「理解を深める」工夫を行いましょう。

#### ■授業アイデア例

◇中学校第2学年「明治維新」における実践

**終末の場面** 課題 → 明治維新の三大改革は、人々の生活にどのような影響を与えたのだろう。

「五箇条のご誓文」と「武家諸法度」のちがいを説明しましょう。

江戸時代と明治時代で、税制はどのように変化したでしょう。

用語の暗記ではなく、比べたり、関連付けたりすると、内容や時代の特色の理解が深まるね。

今日学習した「廃藩置県」と「地租改正」と「徴兵令」をノートに貼って記入しましょう。その意味も書きましょう。

**Point**  
○(学習した用語の説明だけでなく、)すでに学習した用語との違いを説明する活動を位置付けましょう。  
○学習した時代を比較して相違点を見出したり、関連付けて共通点を見出したりする活動を位置付けましょう。

**Point**  
○ノートの表紙裏等に白年表を貼り、学習ごとに追加できるようにしましょう。  
※地理の学習では、白地図を貼り、位置や分布などを記入したり、着色したりすることもできます。

#### 参考

<基礎的・基本的な知識・概念のうち、定着が不十分と見られるもの>

- 同時代に活躍した人物名や業績(小学校)  
例:「大久保利通」と「木戸孝允」/「陸奥宗光」と「小村寿太郎」等
- 類似語との混同などで意味理解が不十分な用語(中学校)  
例:「三角州」と「扇状地」/「季節風」と「やませ」「偏西風」/「武家諸法度」と「御成敗式目」等  
(参考: 国立教育政策研究所 「特定の課題に関する調査(社会)結果のポイント」)

#### ■その他、関連した指導について

- ・国語科において、題材の舞台となっている時代や地名を確認し合う。
- ・他教科においても、児童生徒がキーワードを用いて学習のまとめを書いたり、用語の意味を説明し合ったりする活動を位置付ける。